

実は...

保護者のみなさまへ

# こんなことで困っていませんか？

2つ以上の作業を同時にこなそうとすると混乱してしまふ。



漢字や英語のスペルがどうしても覚えられない。

プリントや配布物をよくなくしてしまう。

特定のことにこだわり、興味が広がらない。

友だちとの関係の作り方が下手で、トラブルも多い。

急に予定が変わると次に何をしてもよいか分からなくなる。

感情的になり、気持ちの切り替えが難しいことがある。

高校生の中には、本人の努力だけでは解決できない学習や生活上の困難さを抱えている生徒がいます。この中には、発達障害のある生徒が含まれている可能性もあります。

< LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害の主な特徴 >

【認知や学習上の困難さ】  
聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの能力のうち、特定の分野に極端な苦手さがあるなど

【行動上の困難さ】  
注意力や衝動性、多動性などが年齢や発達に不釣り合いで、生活や学習に支障をきたすことがあるなど

【社会性の困難さ】  
相手の気持ちを察することや周りの状況に合わせる事が苦手であったり、特定のものにこだわる傾向があったりするなど

このような困難さを抱えている生徒の学校生活の充実や卒業後の進路実現のためには、周囲の理解と適切な支援が必要です。

理解に基づく正しい見方  
適切な環境やかかわり

無理解による誤った見方  
不適切な環境やかかわり



得意な能力を発揮  
自尊心の向上  
他者への信頼、落ち着き  
対人トラブルの減少など

二次的な問題に派生  
自尊心の低下  
反抗的・攻撃的行動  
引きこもり、不登校など



# 気になることがあれば学校に相談してください。 家庭と学校が協力して支援を行いましょう。

## 自尊心の向上を図りましょう

本人の努力を認めたり、結果よりも過程を評価したりすることを心掛けましょう。「できた」「わかった」という成功体験を積み上げていくことが大切です。

## サインを受け取りましょう

子どもがちょっとした態度や行動の端々で訴えている困難さに気付いてあげましょう。周りが感度のよいアンテナをもつことが大切です。

## 得意なところを伸ばしましょう

子どもの得意なところを見つけ、かけがえのない個性として発揮できるように伸ばしていきましょう。いつもよいところをしっかり褒めることが大切です。

## サポーターになりましょう

子どものありのままを受け入れ、気持ちに聞き入り、努力を認めましょう。よき理解者・相談相手として共に歩む姿勢が大切です。

## 個性を認め合いましょう

特徴的な行動も持ち味であり個性です。みんなそれぞれ違いがあるという考えを子ども本人、そして周りの人に日常的に示す事が大切です。

## 過不足ない援助をしましょう

困っているときは言葉を掛け、さりげなく手を差し伸べましょう。苦手さをカバーする方法と一緒に考えてあげることも大切です。

高等学校においても、生徒一人一人の教育的ニーズに対応するため、特別支援教育を推進しています。

## 特別支援教育を推進するための主な支援体制

### ○ 特別支援教育コーディネーター

高等学校では、保護者の相談窓口や関係機関との連絡調整など、学校内外のコーディネーター的な役割を担う教員を指名しています。

また、生徒の特性に応じた支援の在り方や支援体制などについて検討を行う校内委員会も設置しています。



### ○ 専門家による巡回相談

福岡県では、医師や臨床心理士、特別支援学校教諭等で編成した巡回相談チームを設置しており、学校の要請に応じて専門家による助言を受けることができます。各学校にお尋ねください。

### ○ 児童生徒指導相談室(子どもホットライン24)

相談員が、電話相談や面談によって必要な教育情報を提供しています。

福岡 092-641-9999    北九州 0949-24-3344    北筑後 0942-32-3000  
南筑後 0942-52-4949    筑豊 0948-25-3434    京築 0979-82-4444